

第8回セイカ子ども大学

「クリスマスオーナメントを作ろう！」

色の魔法・わたしの色

実施報告書

- 【主催】 SEIKAクリエイターズインキュベーション推進拠点コンソーシアム
<精華町・京都精華大学・けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-Scan）>
- 【後援】 精華町教育委員会
- 【開催日時】 2024年11月30日（土）・12月7日（土）（2日間の開催）
午後1時～4時
- 【開催場所】 SEIKAクリエイターズインキュベーションセンター
- 【開催趣旨】 色について学び、自分だけの色を使ってクリスマスオーナメント（リースもしくはツリー）を作る。1日目は、「色」について楽しみながら学び、自分の好きな色を探しモビール作り。2日目は、自分の好きな色の素材をたくさん集めてクリスマスオーナメントを作る。「クリスマスは赤と緑」という見なれた色を改めて考え自分の色でクリスマスを楽しむ機会とする。
- 【講師】 京都精華大学マンガ学部キャラクターデザインコース
准教授 丸岡 慎一先生
- 【参加対象】 学研都市に居住する小学3年生～中学生（小3,小4は保護者同伴）
- 【参加者】 11組
- 【参加料】 1,000円
- 【広報】 チラシ配布：精華町立小学校
チラシ配架：精華町役場・図書館
SNS：精華町HP・Instagram・K-Scan HP
- 【内容】 1日目:色の実験
- ①水を入れた透明のカップに色のインクを垂らして薄い色から順番に並べてグラデーションを作り、青のインクなら自分が「青」だと呼べる色水はどれかを考える。
 - ②コピックマーカーから1番好きな色を探し、カラーペーパーを作る。「自分の色」と組み合わせる色を考える。
 - ③カラーペーパーを切り貼りしてモビールを作る。
- 2日目:オーナメント制作
- ①クリスマスツリー（三角錐）もしくはリース（輪）を選択。
 - ②持ってきた素材や作った素材を並べて、オーナメントのデザインを設計。
 - ③土台となるスタイロフォーム（発砲素材）をデザインした形に熱線カッターで切断。（要注意の作業だが補助の学生さんのサポートでクリア）
 - ④自分の好きな色を塗り、素材を飾り付けてオーナメントを仕上げる。

【1日目】

色のグラデーションを作る。



カラーペーパーを作る。



好きな色を選ぶ



カラーペーパーからモビールを作る。



カラーペーパーからモビールを作る。



出来上がったモビール。



【2日目】

オーナメントのデザインを設計。



スタイロフォーム（発砲素材）をデザインした形に熱線カッターで切断。



自分の好きな色を塗り、素材を飾り付けてオーナメントを仕上げる。



【アンケート集計結果】

このイベントを知ったきっかけは？ (数字は人数)

- ・チラシ (学校から ⑩ ・ 公共施設等) ・精華町HPやSNS ①
- ・その他 ()

「自分の色でクリスマスオーナメントを作ろう！」はどうでしたか？ (数字は人数)

- ①作業 ・簡単すぎた ⑩ ・ちょうどよかった ⑨ ・むずかしすぎた ①
- ②説明 ・わかりやすかった ⑨ ・わかりにくかった ①
- ③時間 ・時間が足りなかった ③ ・ちょうどよかった ⑥ ・時間が余った ①

ワークショップ全体を通じて、どうでしたか？ (数字は人数)

- ・よかった ⑨ ・よくなかった ⑩ ・その他 ①

※その理由をご記入ください。

- ・知らない道具が使えて楽しかったです。
- ・上手にできたから。
- ・とても楽しい2週間でした!科学とからめてアートの世界にふれられて大変有意義でした。
- ・楽しかった。
- ・とても楽しかったし、色がこんなにあるんだと分かったから。
- ・勉強と違って、緊張しないで、好きに作れたこと。
- ・図工の色々なことを知れたし自由にできたから。

その他、お気づきになられた点、感想等をご自由にご記入ください。

【本人】

- ・オーナメントやクリスマスリースを作れて楽しかったです。電熱カッターを使えて楽しかったけど難しかったです。
- ・リースを作るのが楽しかった。使ったことがない道具を使えて楽しかった。
- ・ツリーを作るとき手が絵の具でベタベタになったけど立体的に作れたし、楽しかった。
- ・普段できないことなどをいっぱいできて楽しかった。他にも色々体験をやって学びたいと思った。いつもこんなに慎重に丁寧に集中してして、何か物事をやるのがあんまりできないから、他にも何かイベントをやりたいと思った。
- ・発泡スチロールを切るのがむずかしかった。自分の好きな色が決められてたのしかった。
- ・めちゃめちゃ楽しかったです!来年もいけたらいいと思います。リースは大事に飾ろうと思います!ありがとうございました。モビールもかざってます。

【本人】 続き

- ・色々な色を使って、家では作れない物を作れたのでうれしかったし、楽しかった。
- ・先生と、他の人たち（補助講師の方々）がいたので、すぐにわからないことを聞いてよかった。また、こういうイベントがあると嬉しいです。
- ・自然のもの、普段使わないものを使ってとてもいい作品ができてうれしかった。楽しすぎて時間が過ぎるのが早かった。
- ・楽しかった。

【保護者】

- ・たくさん準備していただいて、普段できない体験をさせていただけて楽しかったです。「自由に作る」ことは、簡単なようで難しくいい経験になりました。楽しい時間はあっという間に過ぎました。ありがとうございました。
- ・家庭では工作などに時間をとる事もなく、なかなか機会がないので先生に教えていただきながら取り組めるのは貴重なことで良かったです。ありがとうございました。
- ・子供と考えると、ツリーを作りました。一緒に考え、取り組む事ができて良かったと思います。
- ・学校の授業では絵の具を使った図工の時間が学期に数回しかなく(生駒市)思い切楽しんで色塗りをする姿が印象的でした。子ども達が夢中になれる取組みをありがとうございました。
- ・「やりたい」気持ちが上手く続けることができたので、本人の満足するところまでできて良かったです。本人は自分に1人学生さんがついてくれたら良かったなと思っていたようでした。もし可能なら子供1人に学生さんが1人といったペアで作ることができたらより楽しかったのではないかと感じました。
- ・ヒートカッター等家ではなかなか使えない道具を使って工作する機会がないので、普段できないことが体験できて貴重な機会となって良かったです。ありがとうございました。
- ・とても楽しく参加させていただきました。ありがとうございました。
- ・楽しく制作できたみたいで良かったです。
- ・長時間・工作ができるワークショップを是非たくさん企画してほしいです。低学年、高学年等、レベル別のものを期待しています。ありがとうございました!
- ・他の参加者の作品も勉強になった様子でした。また来週も楽しみ!と言っていたのでとても楽しめていたようです、ありがとうございます
- ・大好きな工作に熱中できて嬉しそうでした。

科学に対する関心度を教えてください。(数字は人数)

- ・とても関心がある ①
- ・関心がある ⑤
- ・どちらともいえない ④
- ・あまり関心がない ①
- ・まったく関心がない ①

今回のイベントのように精華町では、みらいを担う子どもたちに、学研都市にふさわしい学びの機会を提供する「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの取り組みを行っています。当てはまるものすべてに○をつけてください。(数字は人数)

- ・良い取り組みだと思う ⑨
- ・学研都市にふさわしい ③
- ・今後も継続してほしい ⑧
- ・精華町の子どもたちは恵まれていると思う ④
- ・このプロジェクトを知っていた ②
- ・このプロジェクトを知らなかった ⑤